

刊夕日二月五

常磐每日新聞

定額 郵券
 廣告料五號十二字第一行金五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

行から信へ

真繼 雲山

(二)

念佛とは彼の阿彌陀佛國に生れたいとの叫びであるゆえ、生を欲すると書き、約して『欲生』となる。親鸞聖人は教行信證の信の巻にこの欲生といふを釋し、欲生と言つば即ち是れ如来あらゆる群生を招喚したまふの勅命なりと申してゐられる。要約すれば欲生は勅命、念佛は如来のお聲といふことになる。念佛によつて救はれるといふ淨土宗では、臨終には彌陀(觀音、勢至)三尊の御來迎ありと説く。聖衆をひき、紫の雲に乗つて遙るゝと西方十萬億土から迎へにお出で下さるのである。信の一念によつて即時に救はれる、救はれたなら報謝の念佛が出るといふ眞宗では、既に入信のときに阿彌陀様のお迎へを頂いてゐるのであるから、臨終に今さら水臭い御來迎といふものはない。平常に於て業事成辨すといふのは、既に入信の一念の時に於いて、お近へを頂いてしまつてゐる話になる。

信じられないといふ人もある、それを無理とは申さない、況んや信じたなら救はれるのだから信せよと押しつけてみても、それで信じられるものではない。もと／＼信とは、そのやうな眼に見えぬものを信用せよとの意味ではなく、信とは『まこと』と訓む。絶對他力に依り信心獲得とは佛の『まこと』を佛様がわれ／＼凡夫に頂かせて下さるのである。それを我が胸一つに頂戴して、その佛様からの慈悲の光りに我がたましいが照らされ、そこに佛凡合一の境を施し與へて下さるのである。

その境地は理窟ではなくして、體驗であるから、何と説明の仕やうもないが、強いて文字にあらはせば、自力とすれば我執を去り妄念を拂ふことであり、他力

妾であつて、私たちはその境地に於てのみ、生にも死

二明日の献立

【朝】みそ汁ーじやが芋わかめ
 【晝】小倉煮ー小芋 小倉煮 さやえんどうひたし
 【晚】みそあへー竹の子 椎たけ

にもいつにても喜ぶことが出来る。利を得て喜び病んで泣くといふのは世態であつて宗教ではない。

常磐文藝

まぶたの影

飯村 閑舟
 かよわい胸の 君ゆえに世を悲しんで 若く散るいとも聞きましょ ねんごろに
 汐吹く浪に 死んだわけ

病氣見舞に伺つたときは、先づ容態を家人にきくそれから徐ろに病室に通るのが順序。

その方法としては坐禪觀法があり念佛がある。その拂ひ去り、離れ切つたところが成佛境であり、救はれた

君よ言ひましょなぜ死んだ死んで人生は 花でない生きて盡して 實を結び散つて誇りの 名が響く
 つれ／＼涙の 寝枕に君がまぼろし 影淡くわが胸軽く たゞき呼ぶ 隣の影は 夢の跡

外科

X 光線科
 性病科
 外科

平町田町

安齊外科醫院

電話四七五番

入院隨意

旭硝子株式會社製品
 赤菱印
板ガラス

製造販賣
 硝子 壺
 硝子 食器
 其他各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番)
 支工場 仙臺市榮町(電話五九七番)

専門
 産婦人科
 花柳病科

◎入院隨意

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

是非御利用を

營業時間午後九時迄

平町四丁目河岸通り
三井質店
 電話六〇六番

吸入用酸素

純度 99%

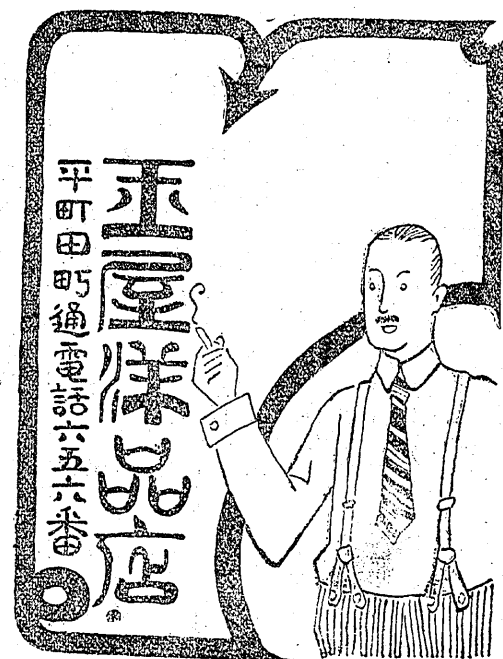
モノサシ
 マス
 ハカリ

体温器
 寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

関内藥局

電話四〇番



懸賞尋不白轉車

弊店名義新品車 一臺

鑑札番號 福島縣一〇四、二八〇番
 平 六、九四一

右新品自轉車ハ去ル三月二十二日購入セシガ、四月八日以來行術不明トナリシ故、發見御知ラセ下サレシ方ニハ懸賞金五圓也。御届ケ下サレシ方ニハドナタニ不拘 金拾圓也ノ懸賞金ヲ差上ゲマス。

平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)

各國産 漆器商
共榮漆器店

優良吏員

廿七氏表彰

けふの町村長會

昨報縣下町村長大會第一日は本日午前十時より第三小學校講堂に赤木知事臨席町村長四百五十餘名出席の上開會、優良吏員として左記廿七名を表彰した

- △信夫郡飯坂町助役高田貞次郎
- △同郡松川村書記丹治一郎
- △伊達郡日館町書記伊藤忠道
- △同郡山舟生村書記齊藤京藏
- △安達郡大山村書記齊藤傳作
- △同郡白岩村書記佐々木勝己
- △安積郡日和町助役島田熊次郎
- △同郡福良村助役武藤一郎
- △岩瀬郡白江村書記森藤文吾
- △同郡大屋村助役星孫一
- △南會津郡伊南村組合収入役平野美春
- △北會津郡荒井村書記坂内要藏
- △耶麻郡喜多方町書記佐藤市次郎
- △同郡翁島村収入役古川清一
- △河沼郡若宮村助役遠藤重男
- △大沼郡尾岐村東尾岐村組合書記上野眞四郎
- △東白川郡豊里村書記佐藤光一
- △西白河郡古關村書記穂積美義
- △石川郡野木澤村助役回谷市之助
- △田村郡大越村収入役久保田耕作
- △同郡片會根村書記中山民次郎
- △石城郡湯本町書記比佐覺太郎
- △同郡入遠野村書記折原

横山會計榮轉 平警察署會計係横山政道氏は今回植田署會計係に榮轉し本日午前九時一分發列車にて赴任した

澤渡春期檢閲 石城郡澤渡三坂組合村消防組の春期檢閲は今日午前十時より澤渡小學校庭に於いて執行、青年團青年訓練所生等も参加して盛會を見た

男 同郡山田村書記佐川朗

女 双葉郡請戸村収入役五十嵐松太郎

相馬郡 郡村助役瀧澤治郎

同郡 石神村収入役羽根田權

議會の新人

杉山代議士が

平で宗教講演

日本基督教會にては来る十六日午後七時四十分宗教講演會を開くが講師は議會の新人と目される、代議士杉山文治郎氏にて演題は「非常時日本に於ける基督教の役割」であるが代議士の宗教講演は聴きものだとばかり入場者の多かるべきを豫想し會場整理の爲め十餘錢の献金を徴すると

南町の豫選

三氏連記

平町南町にては昨夜町議候補の豫選會を開いた結果連記投票に依つて齊藤寅吉、小松茂、岡田政次郎の三氏に決定夫々交渉する事になつた由

海軍記念日と各學校の催し

は来る二十七日の海軍記念日に際し催しもの、計劃左記の如くである

(警中)講演及び平窪村御殿山往復一萬米マラソン

(平商)講演及び谷川瀬一週一萬米マラソン(警女)

講演(第一)講演及び月次運動會(第二)講演及び郊外遠足(第三)講演及び月次運動會

流石に商業が多い

平第一小學校の保護者

平町第一小學校にては四月末現在に依り全校児童一千五百六十五名の保護者の職業を調査したが左の如く商業が一番多く全部の三分の一以上を占めて居ると

平町青訓入所者

五十餘名に達す

平町青年訓練所にては過般來會我主事を始め坂内、鈴木、大和田、丹野、井上の各指導員が出動本年度入所生募集中の處運動奏効し五十餘名に達したので近日入所式を舉行する事になつたが本年度各班の指導員及び

乳幼児を愛せよ!

けふ校長の講演と宣傳ビラ

平町各小學校にては本日乳幼児愛護デーに當り各校長の講演あり全校児童に對し宣傳ビラを配布した

漁船の運轉手

試験成績良好

既報石城郡江名漁業組合では去月廿五日より一週間組合事務所に於いて小型漁船運轉講習會を開いてその内卅七名が試験を受けた結果一名不合格を残すのみで左記全部近く通信省の合格證書を授與されると

- 山田秀松 坂本吉郎 吉田安藏 湯野鐵藏 坂本

十日午前十時より村役場に役員會を開き役員の選舉を行ふと

平倉産の共米

石城販賣利用組合平農倉庫の共同販米は昨日同所にて執行、五等十四俵、等外四十四俵計五十八俵を入札せる結果四等建値八圓十六錢を以つて平町志賀信雄氏に落札された

關内氏

決定

二丁目豫選

平町二丁目町會議員候補者は昨夜豫選の結果満場一致を以つて現議員關内正一氏に決定を見た

關西の旅から

磐女修學旅行團

第六信 五時半起床。昨夜雨で歩かなかつたせい今朝はみんな元氣。七時出發。小雨模様。有名な二見の日の出がその爲見えな。電車にて山田へ。

看護婦急派の求めに應じます

平町南町

平看護婦會

電話三〇七番

平町人事

回出生

- △鷹匠町四 須藤龜次郎氏 長女喜代子
- △舊城跡一二 大平義一氏 三男義則
- △新川町六 松崎勝雄氏長男信道
- △大工町一七 丹野利松氏 二男隆敏
- △中町一三 渡邊清治氏二女昌子

回死

- △回死 亡
- △鎌田一六氏家豊治(二〇)

小田部署長 警視任命

若松榮轉決定

昇進に因縁深い土地

平警察署長小田部秀雄氏は警視に昇進して若松警察署長に任命される事に決定した。後任は横山郡山署長と内定の模様である。因に小田部署長は明治四十四年巡査を拜命して最初の任地が若松であり警部となつたのも同地。今度は警視として赴任する等、同地は小田部氏昇進に極めて因縁の深い土地であると

春の大掃除

来る六七の両日

平町の春季清潔大掃除は来る六七の両日に亘つて行はれるので本日町役場では清潔法施行に關する注意書を發したが各町別日割は左の如くである

(六日) 北白銀 仲間町 鎌田 立町 堤ノ内 月見町 大工町 南白銀

(七日) 田町 三丁目 四丁目 五丁目 新川町 南町東部(七日)長橋 研古 紺屋町 一丁目 二丁目 材木町 鍛冶町 南町西部 久保町 胡摩澤 樋小路 舊城跡 鐵道官舎 八幡小路 北目

横領村長と助役が

判決に不服を唱ふ

けふ辯護士が控訴の手續

双葉郡長塚村前村長江閣榮治(五)及び同村助役安井實(四)の兩名に對する詐欺横領事件の附帶訴訟として本縣にては兩名に對し五千四百圓の損害賠償請求事件を平支部に提起して居たが

渡されたが、兩名は此判決に不服として大嶺及び真木辯護士を代理人とし控訴の申立をなした

古河男の

寄附金で

剣道の道場

石城郡好間村第一小學校では今回尋常五年生の生徒に依つて少年消防隊を組織し近く發會式舉行の準備中である。尙同校では古河男爵よりの寄附金百圓を基金として兒童の剣道部を設置すべく目下同校内に道場を着工中であると

鮮人娘と

大工が駈落

石城郡湯本町字八仙居住大

狂女人水

清水旅館の女中

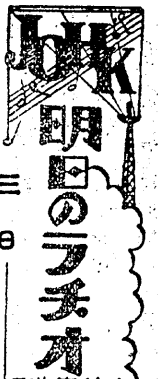
昨日午後六時頃石城郡好間村字川中子地内夏井川畔に三十才前後の婦人の變死体が横つて居るを通行人が發見平署に届出たので直ちに係官が急行検視した結果今朝に至り右は紺屋町清水屋旅館に女中奉公中發狂して飛出した千葉縣生れ荒井ヨネ(三)の屍體と判明した

初夏の...

楽しい旅に

平町尋常六生全部

平町第一第二第三各小學校六學年生四百餘名は来る六月二日校長及び組主任引卒の下に日光へ一泊二日間の豫定にて修學旅行に出發するが貧困兒童に對しては例年の如く保護者會より旅費其他の支給をなす由



明日のラジオ

今夜は西の風や、強く晴明日北西の風晴

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話「平野國臣」和田宗八
後七、三〇 講演「乳幼児を愛護せよ」内務大臣男爵山本達雄
後八、二〇 洋樂

明日の部

後八、三五 小唄 歌村藤兵衛
後八、五〇 連續ラヂオドラマ「ジャン・ヴァルヤン」友田恭助外
後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

津浪の難で

今は無一文

不幸な罹災者が役場に救護願出

本日平町役場に労働者風の男が旅費の貸與を願出たので吏員が事情を聞くと同人は岩手縣氣沼郡越喜來村時計商李良源(三)と稱し去月三日の三陸大海嘯の爲めに家財諸共泥海に押流され商賣も出来ぬので富山縣中新川郡滑川町の友人を頼つて出發途中で無一文となり斯くは救護を願出たものである

裁判所だより

▽双葉郡廣野村大字上淺見川字小松三十二番地農根本末吉(三)に對する決闘殺人及び傷害致死事件は去月二十四日豫審終決し平支部の公判に廻されたが来る六日平支部準備室に於て中島裁

- △金具工見習 十六才 尋卒 仕着小遺(平町某)
- △下駄職見習 十六才 尋卒 仕着小遺(平町某)
- △鑄物工見習 十六才 尋卒 仕着小遺(郡山市某)
- △葉局見習 十六才 高卒 給料面談(平町某醫院)
- △回職を求めの方
- △自動車助手 十六才 高卒 給料面談(内郷村某)
- △女中 三十六才 高卒 給料面談(長野縣某)
- △事務員 二十四才 高卒 給料面談(玉川村某)
- △鍛冶工 二十四才 讀書し得 給料面談(永戸村某)
- △鑄物工 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)

幕末剣士

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第三百二十六號

佐々木見山

鼠賊の大掃除
佐々木見山は水茶屋の女中に申付け酒を取寄せ

佐「貴様も一ツ飲め」
と僕に盃を献じた

僕「有難いこととございませう、お相手を致します。ねえ先生、貴下が助けてやつたあの娘とその供をして来た若い者は何處の人でございませう、貴下が御出がな

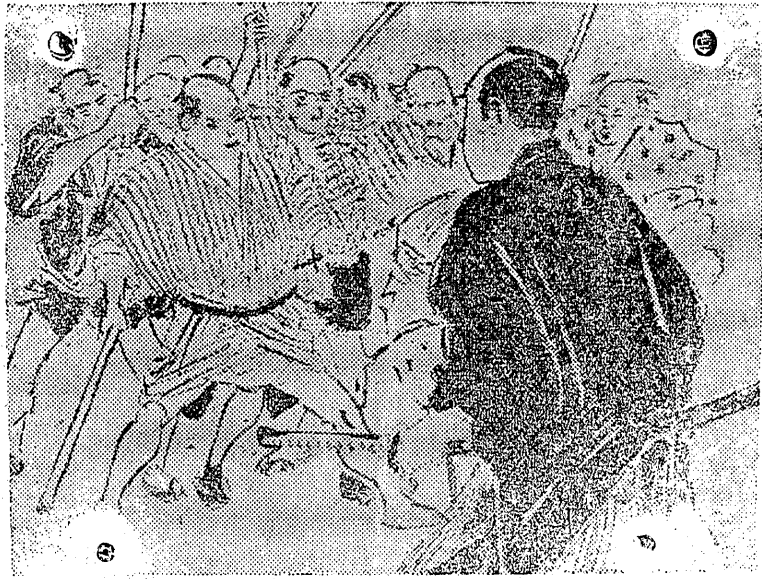
いとあの二人は巾着切りにひどいめに逢ひまして怪俄をしたでございませう」

佐「さうだ、いづれの者か名も聞かなんだが、町家の者には相違ない、其れにしてもこの清浄なる觀世音の境内に賊が居るとは不埒なことだな」

と云つた時に茶屋の女が女「此邊は巾着切りの巢でございませう、私共は此處に毎日店を出して居りますから一目見れば巾着切と云ふことは判りますが、田舎の方などは彼奴らのためにお金を取られましてね、宿に歸ることも出来ない泣いてゐる人などがございませう、と云つて巾着切が貴下の懐中を狙つてゐますから御用心なさいと云ふことは出来ません、それは巾着切

に其事が知れますと、渡世の邪魔をしたと云つてひどつたり番を切つたり致しました」

してやつた賊共の同類が来たか、察するに俺の爲に稼業を妨げられたと申して怒り居ると見える、ヨシ、此の觀世音の境内には以來巾着切の居らぬ様に賊の大掃除をしてくれる、サ、早く酒を飲まねば叶かん、喧嘩の最中に飯むことはなると云はれて僕もおどろい



だな」
女「オヤ、旦那、大變ですよ、鼠の虎右衛門の所から子分が大勢押して来ました」

佐「何を致せばとて相手は鼠賊である、俺が一度怒れば彼等は穴に逃げ込むであらう」
と云つた時、バラと此の茶屋の前に来た五六人

其仕返しに来たんだ、此處へ出る」
佐「さて、巾着切り、今相手をしてやる、サ、これは茶代である」
一分それへ置いた

女「有難うございませう、然し旦那向ふは大勢でございませうから御用心なさい」

佐「イヤ、俺が今日は巾着切りの大掃除をして以來田舎の者なりとも安心して遣參詣を致される様にして遣はす、待て、賊共、唯今片付けてやるぞ」

○「此侍め大層な事を云ふぜ、片付けてやると云つたぜ、す、はきの時の箆筒だと思つてゐる、ヤイ侍、出て来い」

佐「今出るぞ」
と云ひながら酒を飲み徳利を逆しにして

佐「もう酒は一滴もないなア、大分酔が出て參つた、コレ、俺が今巾着切りの大掃除をする、よく見て置け」

と僕に云つたが、此の僕は弱いから慄へて居りますやがて見山はズイと表へ出て見ると三四十人集まつてゐる

佐「大層出て參つたな、ソレ打つて參れ、相手をしてくかはず、また断つて置くが俺の刀は切れるぞ、これがサラリとさはると血を見るぞ、サア參れッ」

柄を手をかけてテツと睨んだきん着切はこれを見て

てはこれから先仕事は出来ねえ、誰だと思ふ鼠の虎右衛門の身内だぞ」
佐「ウム虎の一族か、虎の一族とあれど形は猫に似てゐる、一疋一疋は面倒だ束になつて咬み付け」
○「此の野郎とんでもねえ事を云やアがる、さアサンビン覺悟しろ」
バラと取り巻いた此折三社の神主はそれへ出て來て

神「どうぞ待つて下さい、まア、お武家様も刀を抜くは少しお待ち下さい」

と止めた。佐々木はこれを見て

佐「貴公は此の三社の禰宣か」
神「ヘエ左様でございます、まア暫くお待ちくださいまし」とまた止めた。

印刷物の御用命は總て
常磐日毎印刷株式會社
電話三六〇番

原市醫院
平町田町
電話一四四番

米國製刺皮膚病良藥
レメドール
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

丹波博士創製セキドメ
宮温湯
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙なり

たんばあめ
うまくてセキがヨクトマ

靈藥ムテキ
ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、スベテ化膿したもの

阿康藥舖
平町古銀治町一〇
縣社ノ下 電話四四番

合服とレインコート
御召替の節です……キツ皆様の御氣に召す1933の春の新製品を豊富に取揃へ陳列して御座います。

新柄背廣	12.00
黒セル背廣	9.00
レインコート	9.00
パーバリ	3.20
トレンチコート	5.00

ふかや洋服店 平電 203

全外科 醫學博士 渡部 義夫
小兒科 女 醫 渡部 きい子
内科 平町田町大通リ(電話二七七番)
入院應需 渡部 外科